



TITLE:

第1回国立大学図書館協議会シンポジウム(西会場)開催される

AUTHOR(S):

CITATION:

第1回国立大学図書館協議会シンポジウム(西会場)開催される. 静脩
1988, 24(3): 14-15

ISSUE DATE:

1988-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36994>

RIGHT:

のと、ラテン・アメリカ、チェコ・スロヴァキア、ブルガリア、ルーマニアやアジアに関するパンフレットを収録したものです。

請求記号は YP21 I1 で、B2 階中間ブロック東側、新分類洋書が排架されている場所にあります。

Alfabetische catalogus van de boeken en brochures van het Internationaal Instituut voor Sociale Geschiedenis. Amsterdam.

Boston [Mass], G. K. Hall & Co. 1975-1979.

- 1) Mayer, Paul: Die Geschichte des sozialdemokratischen Parteiarchivs und das Schicksal des Marx-Engels-Nachlasses, *Archiv für Sozialgeschichte*.

(Hannover), Bd, VI/VII 1966/67 SS.5-198

佐藤金三郎「アムステルダムだより— IISG とマルクス・エンゲルス遺稿をめぐる—」思想556(1970. 10)pp.125-141

- 2) Nettlau, Max: Michael Bakunin: eine Biographie 3Bde in 2. [1896-1898.] (Only 50 copies of this edition have been produced, all of which are numbered and signed.) Feltrinelli Fac-simile reprint 1971. この Reprint の元になった版は限定22部目の Jacque Meseil(?) に贈られのものである。(市販用限定20部中№10のものが法学部図書室の所蔵である。)
- 3) Nicolaevsky, Boris I.: Power and Soviet elite; "the letter of an Old Bolshevik" and other essays. ed. by Janet D. Zagoria pp.3-25. 25p.

『権力とソヴィエト・エリート』中村平八・南塚信吾訳 みすず書房 1970. pp.19-41. p.36

「京都大学同和問題文献・資料コーナー —図書目録—1986」を刊行

本学では、教職員・学生が同和問題に必要な調査研究や学習等を積極的に行っていくため、昭和48年に同和問題委員会が発足、51年度からは同委員会に選書小委員会が設置され、関係図書・雑誌の選定、収集が行われてきました。

選定された資料は学内4キャンパス、すなわち附属図書館、農学部図書室、教養部図書館、医学図書館の資料コーナーに配架しています。

今回発行した目録には、昭和49年度～61年度までの13年間に受入れた図書：約800点、雑誌・新聞：20種を収録しています。

この目録は2年に1回累積版として発行し、全学の図書館(室)に配布してあります。この小冊子が少しでも利用者のお役に立ち、同和問題に対する自発的な調査研究や学習に資することが出来れば幸いです。

中国から学術図書の寄贈を受ける

このたび、附属図書館は中華人民共和国国家教育委員会(日本の文部省にあたる。)のご好意により、1000余冊の図書と逐次刊行物10種の寄贈を受けました。

〈内訳〉

図書(中国書)：経済学，文学，歴史，自然科学関係等： 883冊

(洋書)： 2冊

(参考図書)： 129冊

逐次刊行物： 10種

寄贈受入手続後、直ちに目録・分類等作業を行い、それぞれ二階開架閲覧室又は一階参考図書室に配架しておりますので、せいぜいご利用下さい。

第1回国立大学図書館協議会シンポジウム(西会場)開催される

国立大学図書館協議会は、昭和60、61年度に設置された調査研究班及び学術情報システム特別委員会での検討内容を現場の第一線で活躍している実務者(掛・係長)に周知、理解を深め、実現方策について方向性をみだすため、東西二会場でシンポジウムを持つこととし、西地区については本学図書館を会場として、32大学から34名の出席をえて、昨年10月22日(木)～23日(金)に開催した。

第1部：図書館業務のシステム化と目録システム

課題報告では学術情報システム特別委員会の設置、学術情報センターへの要望書提出までの経過の報告、図書館ネットワークの立場からのシステム化及び目録システム(OPAC)がハウスキューピングに優先すべきことが強調された。

この後、二大学から各館の電算化の現状と問題点について意見発表を行い、熱心な討議が行われた。

第2部：相互協力活動の推進

(1) 現物貸借・文献複写料金

「相互貸借の推進方策調査研究班」第一次報告作成までの経過とその概要について課題報告された後、二大学から当該大学での相互協力活動の取り組みと問題点について意見発表がなされ、引き続き「報告書」の指摘している問題点について活発な討議がなされた。

(2) 大学図書館の公開

課題報告は「大学図書館の公開に関する調査研究班」設置に至る経緯及び報告書の概要、さらに62年8月、全国立大学図書館を対象に実施されたアンケート調査の結果について行われた。

討議のなかで、四大学の実情報告を受け、実施にあたっては、人員、施設面等の問題点の指摘があった。しかし、公開は社会の要請として行わねばならない課題であり、可能な限り学外者へのサービスをすることが必要であることを再確認した。

大学図書館研究集会（第8回）開催

今回で8回目を迎えた大学図書館研究集会（日本図書館協会大学図書館部会及び国公立大学図書館協力委員会の共催）は、11月25（水）～26日（木）の2日間、大阪市立大学で開催された。「大学図書館のサービス改善の方向を探る－イノベーションへの対応－」をメインテーマとした今回の研究集会には、北は北海道から、南は沖縄まで、全国の大学図書館から約270名（204大学）が参加した。

第1日目の午前中は、開会式の後、安達淳助教授（学術情報センター）から「学術情報システムの最近の動向と近未来の展望」と題する基調講演があった。午後から第2日目の午前中までは、三つの分科会にわかれて、コーディネータを中心に活発な討議が行われた。午後の全体会議では、2日間にわたって討議された分科会の報告と質疑応答が行われ、2日間の日程を終えた。

各分科会のテーマ及び主な討議内容は、次のと

おりである。

第1分科会 「大学図書館へのニューメディアの応用」

ファクシミリ、CD-ROM、ビデオテックス、電子出版等のニューメディアの出現に伴う、これらニューメディアの大学図書館への応用の可能性及び大学図書館の機能・役割等への影響について討議。

第2分科会 「学術情報センター接続と図書整理の課題」

学術情報センター（NACSIS）との接続によるオンライン共同目録作業について、既接続館における現況報告にもとづき、問題点等を討議。

第3分科会 「小規模図書館（室）の電算化」

小規模図書館（室）における電算化事例を中心に、電算化における諸問題について討議。

分科会でのテーマに見られるように、ファクシミリ、CD-ROM等のニューメディアの出現及び学術情報センターとの接続によるオンライン共同目録作業の進展等の新しい技術革新の動きに対応して、大学図書館はいかにあるべきか、サービスのあり方等を討論の主眼とした今回の研究集会は、ほぼ期待どおりの成果をおさめ得たように思われる。

揺籃期の京都大学

－創立90周年記念展－を開催

明治30（1897）年6月18日、勅令第209号により設立された京都大学は昨年創立90周年を迎えました。

附属図書館では、毎年、テーマを選び本館所蔵資料を主とした展示会を開催しております。学外者にも一般公開するこのイベントは、大学図書館公開の一つとして好評を得ております。

今回は創立90周年にちなみ、京都帝国大学の創立前後から総合大学として四分科大学（理工科大学、法科大学、医科大学、文科大学）の設立までを取りあげ、明治期一草創期の本学の姿を示す展